

ネクスレイの価値創造が米国「Los Angeles Times」で紹介されました。

ネクスレイの不動産価値創造への取り組みが、
米国の有力紙「Los Angeles Times」のJapan Special Reportで紹介されました。

記事では、建物の現在の用途や既存の価値にとらわれず、
法規制や設計、運営など多角的な視点から可能性を見出し、
新たな価値を創り出すネクスレイの事業姿勢を紹介しています。
また、不動産を単なる資産として捉えるのではなく、
ヘルスケア、ホテル、コミュニティなど、
人や社会との接点を生み出す「プラットフォーム」として捉える考え方にも触れています。

2026年8月1日の社名変更についても紹介され、
「Nexus」と「Ray」に込めた、
知識や信頼をつなぎ、まだ見えていない可能性に光を当て、
新たな価値を引き出していくという
ネクスレイの思想が、海外に向けて発信されています。

記事は下記URLからご覧いただけます。

<https://www.latimes.com/specialsupplements/one-world-media/story/raysum-real-estate-healthcare-hospitality-investment>

Nexray